

記入 昭和 59 年 9 月 12 日

調査者氏名 熊野秀一

141 家畜飼育

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア国	(現地公用語) Animal Husbandry	新規	(男) 1人	60年 8月	
	(日本語) 家畜飼育	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education, Science and Technology
(日本語): 教育科学技術省

② 隊員勤務先名称: JKCAT 日本語名称 (322 T-park 農工大)
所在地: P.O. Box 6000, Nairobi 主要都市 (ナイロビ市) から 40キロ

③ 事業規模及び内容: 農業・工業分野の開發・発展に必要な中堅技術者を養成する大学
日本の無償資金協力(約45億円)により昭和56年5月開校。現在農場整備(約8億
円)実施中。農学部3学科(園芸 農業工学 食品加工) 工学部3学科(機械工学 土木建築

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 学生数 500名 ケニア人教師 80名 日本人教師 40名
建物 内部設備 教材 材料も日本の大学と同水準以上を完備している

(2) 隊員の業務内容 JKCAT付属農場2の家畜飼育全般に亘る管理

① 隊員の業務上の地位: 農場長補佐

② 技術の範囲: 牛(乳肉) 豚 羊 山羊 鶏等の飼育。自給飼料生産から病害
虫予防 繁殖に至る全般の知識

③ 業務の形態: 既派遣隊首の“教室型”と対照(2)であるが本件は付属農場に於
いて直接飼育に携わる“現場型”を業務とする。農場長を補佐する地位のため
実際は Demonstrator (飼育主任) と協力し業務を遂行することになる。従って De-
monstrator が実質的のリーダーとなる。業務は自給飼料生産から繁殖病
害虫予防の飼育全般。畜舎建設も予見される。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

備行に基づき受動的な飼育者が主流。自身の判断決断が出来る。高技術 20台

⑤ 現地で利用できる機材: 草専用の農機は全部あり。牛舎 搾乳場は既設。採草放
牧地は充分あり。

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 有畜農業が主体のケニアに於ける農業教育機関の
農場が未整備のため若干の牛取が慣行法に近い方法で飼育されていることがあり。畜産
部門の教育課程は非常に農場運営に当り畜産部門の強化が計画されている。60年
4月の農場整備完了後、農場運営が本格化する。集約的飼育技術に未熟
なケニア側スタッフの技術向上に日本の援助を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒 病気の予防知識の豊富さが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

216

記入 昭和 59年 7月 27日

調査者氏名 鈴木 秀幸

141 家畜飼育

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) Mfaalamuwanitugo (日本語) 家畜飼育	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Shirika la Elimu Kibaha (日本語): キバハ教育センター					
② 隊員勤務先名称: Shamba la v'gambewa magiwa 日本語名称(キバハ酪農場) 所在地: P.O.Box 30654 KIBAHA P/WANI 主要都市(ダラ)から40キロ					
③ 事業規模及び内容: 乳牛 500頭, 放牧地 1500ha 搾乳し地域の住民に牛乳を供給している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 機械搾りしている。ミルカー パイプライン					
(2) 隊員の業務内容 主に牧草管理, 他に人工受精, 家畜の健康管理					
① 隊員の業務上の地位: アドバイザー					
② 技術の範囲: マメ科牧草の採種, さまざまな農業機械のメンテナンス					
③ 業務の形態: 各種の技術者を指導していく					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 専ら学校卒業程度, 27才~35才					
⑤ 現地で利用できる機材: トラクター(MF135)1台, ハロー1台, プラウ1台, 印1台 ハイバロー1台, モーター1台, 人工受精器一式 精液採種器一式					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 牧草に関する技術者が少ない。また農業機械の修理知識が少ない。為現地スタッフに指導材として農場の運営を良くしていく。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 牧草に関する実務経験 2年以上, トラクターのメンテナンスの知識を持つこと 人					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和58年3月

141家畜飼育

調査者氏名 長倉孝



受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マウリ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	家畜飼育	(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE
(日本語): 農業省

ロ. 隊員勤務先名称: MIKOLONGWE VETERINARY STATION 日本語名称 ()
所在地: ミコロンゴエ 主要都市からの距離 (BTより20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 面積 1425エーカー (400エーカー 8283エーカー) マウリ20歳教育を目的とした
最大規模の農場, LIVESTOCK, POULTRY TRAINING COLLEGE あり
小山々々独立した形で存在

ニ. 設備概要: LIVESTOCK 搾乳室, 30頭収用可 (牛搾乳) 仔牛小屋, MIXING ROOM
放牧地 1,000エーカー, 乾期用家畜収用施設, DIPPING TANK.

(2) 隊員の業務内容:

業務上の地位: DAIRY SECTION の TECHNICAL OFFICER

業務内容: ① 乳牛管理一般 (DIPPING, 予防接種, 搾乳管理, 乳量記録
飼養管理)

② 仔牛種雄牛, 若牛の管理 (DIPPING, 予防接種, 飼養管理
個体管理)

③ 人工授精 (種付片 採精, 凍精, 台帳管理)

④ 牛の世 (牧場管理, 飼料管理の仕事)

又現在 TRAINING COLLEGE の施設拡充, コースの増設が
計画されている。

マウリに下は COLLEGE 卒業者が多く 人工授精も担当。

使用言語: 英語, 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学畜産学科学

③ 実務経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 5 日

調査者氏名

141 家畜飼育 大塚正明

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
リベリア	(現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 家畜飼育	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education (日本語): 教育省					
② 隊員勤務先名称: Booker Washington Institute 日本語名称 (ブッカーワシントン取業技術専門学校) 所在地: P.O. Box 273, Kakata, Liberia 主要都市 (モンロビア) から 72 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農業 建築業 商業 工業 の各科に分かれ 中学卒業後 4 年間の 取業技術教育と手に入る。リベリアで最も古い歴史を持つ学校のひとつであり、アメリカ からの援助のおかげで受けつづける。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 各科の建物、及び本部、食堂、寮、農場が併設されており、 USAID からの援助で設備は十分に整っている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師 (農業科)					
② 技術の範囲: 畜産 (牛、羊、豚、鶏) の全般的な知識及び経験と必要とされるが専門的 な深さより幅広い応用のある農業全般の知識があることがよい。					
③ 業務の形態: 畜産コースを担当しリベリア人教師と共に講義、実習を行う。本校に併設 されている農場において、畜産のデモンストレーションにあたる。鶏、豚については飼育方法 の改良が期待されており、学校内外で広く周辺農家への波及効果も十分に期待 できる。本校 農業コース全般にわたる農場の運営方法、カリキュラム作りなど、則言と 手とされる範囲は広い。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学卒の教師もいるが、特に実際的な 技術に長ける。農業全般が地味から徐々に発展して来たため、教師の知識も広い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 鶏舎、畜舎 (豚) その他、小規模農具					
⑥ 第3国人等の配置状況: ガート人、アメリカ人					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: リベリアは今、占米から採集農業へ、栽培農業への転換期 であり、新しい国家建設のためにもオーストラリアの重要性、必要性が唱えられている。肉食 の好む国民は増加しつつ、畜産は全く新しい産業として発展している。狩猟で採れる 未だ肉を自分で産出する技術と最も必要とされており、次の世代と相違なく生徒達に 畜産の重要性を教えるためにも大いに意義がある。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒業生 鶏及び豚の飼育経験があること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和59年8月27日

141家畜飼育 調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) INSEMINACION ARTEFICIAL	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜人工授精	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL de FOMENTO COOPERATIVO

(日本語): 組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: COOPECRYOTECH R.L.

日本語名称 (クリオテック組合)

所在地: サンタ・アナ

主要都市からの距離 (首都より 10キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 新興の乳牛肉片品種改良生産組合

加入組合員数50名、技術スタッフ約20名の多くはナショナル
大学教授

ニ. 設備概要: サンタ・アナ市 a Finca Lindora にモデル牧場、研修所 (計画段階)

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 技術普及指導員

② 技術の範囲: 人工授精, 飼育管理指導 (乳牛, 肉牛)

③ 業務の形態: 現場型 (モデル牧場勤務)

※ 自指導型 (組合加入員 50頭以下の小規模)

④ 指導対象者: 全組合加入員

モデル牧場においては 10~20代の青年 (中・高卒程度) の
研修を担当する。

特定のインターナートは任命され、上記技術スタッフ (獣医師、
家畜飼育等) との共同作業となる。

⑤ 機材: ナショナル大学獣医学部、機材を当面利用する。

多媒液体凍素、凍結精液保存庫他。

⑥ 本国人: 無

⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

年間繁殖授精件数は総飼育頭数に比して30%以下の程度で生産性は高くない。
若年技術者の育成が急がれるところ、隊員に対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 家畜人工授精師免許

普通自動車、自動二輪運転免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 3 月 11 日

141 家畜飼育

調査者氏名 川添浩子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ボリビア	(現地公用語) ZOOTECNICO	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 動物飼育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): COOPERACION REGIONAL DE DESARROLLO DE CHUQUISACA
(日本語): チェキサカ開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: MUYUPAMPA - CORDECH 日本語名称 (ムユンパーチェキサカ開発公社)
所在地: MUYUPAMPA 主要都市からの距離 (アスルより 370 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 技術者 2 名 役員 8 名 チェキサカ州全体を指導対象とし、約 2200 家族とコンタクトをとっている。技術者 2 名と獣医、動物学の専門家がある。

ニ. 設備概要: シーソー 2 台 事務所 宿泊施設なし。

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 技術者 2 名と協力し、チェキサカ州全体の調査と実施計画の作成、指導をおこなう。
- ・ 増殖、牛乳採取の研究。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

交通の便の悪く、地味が多く、新しい技術移転がスムーズに進まず、従って各地を巡回し、指導することに大きな期待をよせている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1/22

記入 昭和 57年 9月 12日

調査者氏名 佐々木 健一

142 養 鶏

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Poultry (日本語) 養 鶏	新規 交替	(男) 人 (女) 1人 (男女不問) 人	60年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Kumudini Welfare Trust of Bengal (日本語): ベンガル クムデニ福祉財団					
② 隊員勤務先名称: Bharaterwari Homes 日本語名称(バラテスワリ学園) 所在地: Mirzapur, Tangail 主要都市(ダンカ)から 70 キロ					
③ 事業規模及び内容: 孤児及び低所得家庭の子を対とした全寮制の女子学園。学級は小学校高学年から高校まで。生徒数1,050名、教師数90名。又、同所にベッド数700の無料病院を別途運営					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 校舎(教室、職員室等)、寮(居室、食堂等)、農場(約10ha)、畜舎					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 養鶏に関する知識、技術 (含アヒル飼育)					
③ 業務の形態: 同校農場内に養鶏(鶏及びアヒル)のProjectを設置し、飼養管理を行なうと共に、約14才から18才までの女子生徒を対象に飼養に関する知識、技術を教える。又、将来カウンターパートの指導育成を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在カウンターパートとなる教師はなし。将来確保予定					
⑤ 現地で利用できる機材: アヒル用飼育舎(約100羽収容) 他特になし。隊員が指導しながら、施設及び機器材を制作購入する。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 病院にオーストラリア人の婦人ボランティア 1名					
⑦ 使用する言語: ベンガル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同校は恵まれぬ家庭の子のための民間団体であり、施設も良く教育程度も高い。教育の目標として、自治できる女性を育成し家庭のレベルアップを計ると共に地域のリーダーともなれることを目指している。その一環として農業、手工芸の教育も行っているが、教師となるべき女性が非常に少ない。特に養鶏部門は婦女子でも手軽に出来る農業として注目されており隊員に対する期待は高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 短大卒以上、養鶏(含アヒル)の(実務経験1年以上)					
※ 事務局記入					

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 **58** 年 **6** 月 **27** 日

142 養 鶏

調査者氏名 **長 倉 孝**

受入希望国名	受入希望業種 <small>(現地公用語)</small> POULTRY FARMING <small>(日本語)</small> 養 鶏	受入希望人数	派 遣 予 定
カンボジア		(男) 人	訓練開始 年 月
		(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): **農業省 畜産振興局**

ロ. 隊員勤務先名称:

日本語名称 (**シマラキ種畜農場**)

所在地:

NIKOLONGWE

主要都市からの距離 (**BT** より **30** キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

種鶏舎5棟3000羽収容, 採卵鶏舎6棟5000羽収容, 育成舎6棟,

オムレツ・エサ・水等の供給は 10 日 6 週舎での管理と 40 日 6 週舎での管理, 舎内衛生と水務.

ニ. 設備概要:

上記種鶏舎他, 立体育雛器(6000羽), 単層育雛器10台(各500羽), 採卵機4台 (平均3.日本製)各250~2600入卵. 輸送用トラック3台, 屠殺場等.

(2) 隊員の業務内容:

採卵, 採取, 卵孵化, 育雛育成, 採卵鶏の管理と全般的なトビバシ.

① 業務上の地位: **農務長, 畜産部内4-7に次ぐ3番目, 畜産部の要員全体の管理担当.**

② 採卵の技術: **雌雄鑑別, 卵の特殊採卵は必要ない. 全般的な知識と経験が必要.**

③ 業務の形態: **トビバシ, 経営22の24は24時間. 隊員2名.**

④ 採卵者の技術: **隊員, 以下は TECHNICAL ASSISTANT, SECONDARY SCHOOL 卒 23~40歳, 経験 6~7年以上, 1人1種鶏舎1期2体系的, 要員の知識は不足.**

⑤ 利用する機械: **全て必要なのは採卵機と急がなければ調達可能.**

⑥ 採卵の国: **日本.**

⑦ 使用言語: **英語. 採卵機は英語のものが便利.**

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. **高卒 英語経験4~5年 または大卒経験2年 希望あり.**

2. **種鶏管理, 卵孵化, 育成と全般的な知識と経験が必要であり.**

3. **養卵に関係するに 最低限の体力, 動力の知識と有ること.**

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

#22

142 養

鶏

記入 昭和 58 年 2 月 日

調査者氏名 中垣長睦

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
カンボジア	養鶏業 (現地公用語) Country (日本語) 養鶏業	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Office of the Prime Minister (日本語): 総理府					
② 隊員勤務先名称: Muplira District Council 日本語名称(ムフリラ市役所) 所在地: P.O. Box 798, Muplira 主要都市(ルサカ)から約400キロ					
③ 事業規模及び内容: 同市役所は現在約260haの買上げた農場(一部開墾耕作地)を所有している。同農場内において、食用作物、野菜、果樹、家畜飼育を積極的に行っており、現在農場長1名、技術者3人、10数人の労働者がいる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、作業所、揚水ポンプ(農場内に川がある) スプリンクラー、小型ゴム、鶏舎(1000~2000羽収容可)トラクター、農具					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 市役所付農業技術アドバイザー					
② 技術の範囲: 養鶏に関する知識・技術が是非必要。その他、ブタ、ヤキ、ヒツジ、牛等に関する知識・技術を習得することが望まれる。					
③ 業務の形態: 実務中心。現在同農場には肉用鶏飼育の鶏舎がある。(1000~2000羽飼育可能)しかし、飼料をほとんど購入しており、その採算性が問題になっている。したがって、同農場内においての一部飼料の栽培をはじめ、防疫方法の改善等を等により、経営改善が望まれている。また、鶏舎だけでなく他の畜舎の飼育可能小舎を建設し、小型模範テストとしての飼育も考えていく。この場合にも飼料の一部を農場内で生産する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農業専門学校を卒業した技術者3名					
⑤ 現地地で利用できる機材: 鶏舎以外にはほとんどない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語、カンボジア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地方分権および地域農業振興政策の一環として各地の自治体が自前の農場を運営するところがある。いわば、食料増産に向けての他の農民に対する広義の意味でのデモンストラーションである。また、開墾地を確保しているような農場の多くは、まだ「レコメンド」であり、技術者等が現場に行き、さらには助成金についても実践的助言を求めらる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業大学校あるいは短大卒以上、実務経験2-3年を有することが望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

が24

25

記入 昭和 59年 9月 12日

142 養 鶏

調査者氏名 金山 昌中

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
カ-1	(現地公用語) Poultry (日本語) 養鶏	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年11月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture, Dept of Veterinary Services
(日本語): 農水省 獣医局
- ② 隊員勤務先名称: Veterinary Training College 日本語名称 獣大医大
所在地: Pong Tamale N/R. 主要都市(タムレ)から30キロ
- ③ 事業規模及び内容: 上記大学所属の養鶏、孵化場において鶏の孵化繁殖を行っている
学生にその技術を教えるとともに地域の農家の初生雛の提供も行っている。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 農場内に種鶏場、孵化場、孵化鶏舎、育雛舎、研究室、飼料作物用農場と一応そろっている。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 大学職員から畜産局Veterinary officer 兼務
- ② 技術の範囲: 種鶏 孵化鶏の育雛育成とともに孵化業務に付随する
ため養鶏全般の広い知識を要す。
- ③ 業務の形態: 大学においては 学生 Technician に 対して 養鶏技術を教える。カ-1 畜産局 staff の一員として 養鶏知識の一般農家の普及も行っている。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

畜産局職員(獣大医大卒あり) 37才位

⑤ 現地で利用できる機材:

セグ-サイレン式 孵化器 4台、検査器、
くま消毒機、デビカー etc.

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

学生指導の目的" 要自給自足" として、この地域へ養鶏を普及させるための期待を込めている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学② 経験 2年 程度以上

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 7 月 1 日

142 養 鶏

調査者氏名

三川 達

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
P.N.G	(現地公用語) Poultry (日本語) 養鶏	新規 交替	(男) 1 人 (女) 1 人 (男女不問) 人	60年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): East New BRITAIN PROV.					
(日本語): 東ニューブリタニヤ					
② 隊員勤務先名称: 米次産品の官産部					
所在地: マンバ					
日本語名称()					
主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Livestock Officer					
② 技術の範囲: 養鶏全般(飼料 育成・マーケツティング)					
③ 業務の形態:					
○ 養鶏飼料の肉質 ○ 村長プロモーション推進の啓蒙活動					
○ 飼舎の改良・備後 ○ 鶏肉・卵の検査・流通					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
ふりかけ					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語・ヒンディー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 1~2年の業務経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

214

記入 昭和 59 年 9 月 15 日

調査者氏名 笠子 美

143 初生ヒナ鑑別

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Chick Sexing (日本語) ヒナ鑑別	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Rural Industrial Development (日本語): 農村工業開発局					
② 隊員勤務先名称: Dep of Animal Production & Health (日本語名称: 家畜生産体発局) 所在地: ペラディニア 主要都市 (コロンボ) から 4 キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 研究員					
② 技術の範囲: ヒナ鑑別					
③ 業務の形態: ペラディニア、クンダラVにある Central Poultry Research Station においてヒナ鑑別に従事する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 有。学歴不明。					
⑤ 現地で利用できる機材: あり。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: シンハリ語、英語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ヒナ鑑別の技術向上のため多大な期待が失念にはある。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ヒナ鑑別師					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 19 日

調査者氏名 河西 達

144 養 蜂

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スイー	(現地公用語) APIARY ADVISOR (日本語) 養 蜂	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): AGRICULTURE DEPARTMENT, MINISTRY OF PRIMARY INDUSTRIES (日本語): 農林産省 農事局					
② 隊員勤務先名称: 日本語名称() 所在地: 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位:					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 養蜂場設立, 維持, 普及計画, 病害調査, 蜂蜜の品質管理(養蜂家に対し) スタッフに対し, 養蜂管理技術の訓練					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
④ 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 5年以上の経験者					
※ 事務局記入					

記入 昭和 59 年 9 月 17 日

調査者氏名 145 獣 医 師 野 津 善 男 ・ 乾 英 二

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン 共和国	(現地公用語) Veterinarian	新規	(男) 1 人	60年 9月	
	(日本語) 獣医師	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture and Food (Livestock and Poultry Section)					
(日本語): 農業食糧省(畜産課)					
② 隊員勤務先名称: M.A.F., Region III, Regional Office 日本語名称(農業食糧省第3地区事務所)					
所在地: San Fernando, Pampanga 主要都市(マニラ)から 66 キロ					
③ 事業規模及び内容: Region III内には6つの州があり、各州に Provincial Vet Officeがあり、その下に Breeding Station, Breeding Center, Sub-Center等が配属され、牛、水牛、豚の人工授精や各家畜の疾病予防および治療等が行なわれている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): Regional Officeには、簡単な解剖設備や飼料分析器等がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Provincial Veterinarian (各州の畜産局長)のアシスタント的地位。					
② 技術の範囲: 家畜人工授精(牛、水牛、豚)、早期妊娠診断(2ヶ月)、種々の家畜の疾病診断および治療(特に熱帯地区の伝染病等)					
③ 業務の形態: 各 Provincial Vet やテクニシャンと共に、実際にフィールドに出て、種々の家畜疾病の予防、診断、治療法を彼らにアドバイスしてゆくと共に、Region内の家畜人工授精の普及および指導も行っており、また、Region内の色々な地域に泊り込みで行き、数頭のバリオに就いて集中したワークショップや人工授精を行ったり、農民を対象としたセミナーに参加する事もある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Provincial Vetはすべて大卒の獣医師、テクニシャン等は高卒の者もあり、技術・知識的に高いレベルとは言いがたい。					
⑤ 現地で利用できる機材: 家畜人工授精については1通り機材はある。(スローガン、ホリテック、バリエック) ワクタンや薬はいろいろ現地で入手できる。またフィールド用の400倍までの顕微鏡はある。無血圧器、聴診器(牛用)もある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: Region III畜産局内にはアメリカ平和部隊等の第3国人等は配置されていない。					
⑦ 使用する言語: 主に英語、現地語(タガログ、ピリピンガ)も話せれば非常に良い。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
JOCV隊員(家畜飼育)が2代にわたり、このRegion III内で、主に家畜の人工授精の普及および指導にあたっているが、またまた基礎的な知識や技術が不足しているとする。それを獣医師という立場や技術を生かし、家畜診療をも含めた、総合的なサービスの一環として推進して欲しい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
臨床経験1年以上の獣医師、牛の人工授精および早期妊娠診断(2ヶ月)が確実にできる事。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

マシ 8

記入 昭和 59年 8月 23日

調査者氏名

145 獣 医 師

浜 田 眞 一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (サバ)	(現地公用語) Veterinarian (日本語) 獣 医	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人	60年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Natural Resources (日本語): 天然資源省					
② 隊員勤務先名称: Orang-Utan Rehabilitation Centre 日本語名称() 所在地: P.O. Box 311, Sandakan 主要都市(サングカン)から 20 数キロ					
③ 事業規模及び内容: 森林局に属し、センターの職員数は、約 30 名、森林にいたる動物(主にオラウータン)の保護及び保育を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): サングカン市内の森林局本庁内に事務関係オフィスがあり、セピロップのセンターは、見学者用広報室、動物飼育用獣舎、管理棟 etc がある					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 所長を補佐し、唯一の獣医となる。					
② 技術の範囲: 猿、熊等の飼育及び一般的獣医に因る知識が必要。					
③ 業務の形態: 病気のケア、或は親に付く小犬、小オラウータンを捕獲し、センター内で療養又は保育し、再び森に返すことが主な仕事であるため、定期的に森林を歩き回り、センター内においては、動物の健康管理等について、ローカルスタッフに指導助言する					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 高卒程度で、技術的には基礎学力に乏しく、経験的に学んでいる者が多い。20~26才程度					
⑤ 現地で利用できる機材: センターには、ほとんど何も無いと言ってよい。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 広報センターに1名のカナダボランティアがいる。					
⑦ 使用する言語: 英語 (日常生活ではマレー語も必要)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 世界的に有名なオラウータンの生息地であり、毎年多くの観光客が訪れるにわかかわらぬ設備の粗末で、動物を管理する技術者に乏しい中で、シルバーボランティアや専門家という話もあるが、とにかく期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学院卒で経験3~5年以上の(獣医資格)と持つ人が希望らしい。新卒程度では対応できない。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1805

記入 昭和 59 年 7 月 10 日

145 獣 医 師

調査者氏名 小堀 泰之

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Veterinario (日本語) 獣 医 師	新 規 <u>交 替</u>	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年5月	
(1) 配 属 先					
① 配属先名称(現地公用語): Facultad de Ciencias Veterinarias / UNA (日本語): 国立フンソソ大学・獣医学部					
② 隊員勤務先名称: Cooperativa "La Holanda Ltda" 日本語名称(ラ・ホルダ乳業協同組合.) 所在地: Campo 9 / Dpto. de CAAGUAZÚ 主要都市(フンソソ)から215キロ					
③ 事業規模及び内容: 1日当取扱乳量約10000kg. 高温殺菌消毒乳, バター, チーズ, ヨーグルト等を生産し主としてフンソソにて販売. 人工授精サービスを行っており 年間目標 1,000頭					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 高温殺菌装置(最高処理能力40000kg/日) オートクレーブ 及び各種検査器具 24kg用LN2タンク及び人工授精キット.					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 人工授精サービス及び診療業務の責任者.					
② 技術の範囲: 人工授精(牛), 繁殖問題牛の治療及び一般診療.					
③ 業務の形態: 上記乳業協同組合の事務所を本拠とし, 高主カスの要請に基づき 人工授精業務及び診療業務を行なう. カウンター・パートととまにバイクにて 往診. ④ 人工授精の度に領収書兼人工授精証明書を発行. 又, 月の業務実績を 協同組合に提出.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象者は周辺の酪農家(ドイツ系) カウンターパートは人工授精の技術上の問題はなし=30才.					
⑤ 現地で利用できる機材: 人工授精用器具, オートクレーブ, 顕微鏡等.					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし.					
⑦ 使用する言語: スペイン語 又 場所によドイツ語.					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当乳業協同組合は3年前に発足. 40000kg/日の処理能力 を持つが現在は10000kg/日にとどまっている. 増産の要因が考えられるが特に乳牛資質 の低水準があげられこの早急の改良が求められている. その手段として人工授精が注目を 浴びている. 又, 当国側としては当地区を一種のモデル地区と考えておりこの成功 を礎に全国的に人工授精を普及させたいと期待している.					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>獣医師免許</u> ○ 一年以上の臨床及び人工授精経験者.					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59 年 8 月 27 日

151 農業協同組合

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) ADMINISTRACION de COOPERATIVAS AGRICOLAS	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	農業協同組合	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL de FOMENTO COOPERATIVO			
(日本語): 組合助成局			
ロ. 隊員勤務先名称: UNION NACIONAL de COOPERATIVAS		日本語名称 (協同組合連合会)	
所在地: サンホセ		主要都市からの距離 (〜より キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: 1969年設立の組合連合組織。各種産業の70組合が加盟。傘下組合に対する経営指導、資金援助を行う。			
ニ. 設備概要: 本部ビル			
(2) 隊員の業務内容:			
① 業務上の地位: 技術指導員			
② 技術の範囲: 中小規模農業協同組合経営に関する助言・指導 企業経営、組織運営等。知識・経験がよければ農業専門知識はくとも可			
③ 業務の形態: 巡回指導型 要請に応じて講習会開催			
④ 指導対象: 組合員及び組合役員 (20~60才) 教育訓練部所属職員 (男、25才) がカウンターパートとなる。 高卒・経験4年			
⑤ 機材: 事務機器、車輛			
⑥ 作る国: 無			
⑦ 言語: 西語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
農業組合は数限りなく存在するが、規模的にはどこも小さく、知識の不足と相まって効果的に運営には至っていない。農牧省指導による計画の恩恵を受けることが困難な中小農民に対する技術普及、ひいては生活水準の向上のために各組合及び連合会、果ては国家レベルでの役割は大であること、隊員の期待も無制限である。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
実務経験のある大学卒が望ましい。			
普通自動車、自動二輪運転免許。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59年 8月 27日

151 農業協同組合

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタ・リカ	(現地公用語) ECONOMIA AGRICOLA	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	農業経済	(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL de FOMENTO COOPERATIVO

(日本語): 組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: UNION NACIONAL de COOPERATIVAS 日本語名称 (協同組合連合会)

所在地: サン・ホセ 主要都市からの距離 (〜より #ロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1969年設立の組合連合組織。各種産業の70組合が加盟。傘下組合に対する経営指導、資金援助を行う。

ニ. 設備概要: 本部ビル

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 技術指導員

② 技術の範囲: 傘下組合における農牧畜に係るプロジェクト立案、新規組合設立に係る可能性調査、市場調査、財務管理の基礎的知識を要する。

③ 業務の形態: 本部勤務型

④ 指導対象: 本部職員
カウンターパート予定者は教育訓練部所属職員 (25才、男、高卒、経験4年)

⑤ 機材: 事務機器

⑥ 母国語: 無

⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農業組合は数限りなく存在するが、規模的にはどれも小さく、知識の不足と相対的に効率的な運営に至っていない。農牧畜主導の計画による恩恵を受けることが困難な中小農民に対する技術普及、これは生産水準の向上のために各組合及び連合会の果たすべき役割は大であること、隊員の期待も無制限である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

② 大学卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1106

151 農業協同組合

記入 昭和 59 年 2 月 15 日

調査者氏名 花田真人



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
110631	(現地公用語) Organización de Pequeños Agricultores. (日本語) 小農組織	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganadería. (日本語): 農政省					
② 隊員勤務先名称: Servicio de Extensión Agrícola Canadense 所在地: S. J. Nepomuceno / Dpto. de CAABAPA 日本語名称: 農林普及局 事業所 主要都市: (S. J. Nepomuceno) から 248 キロ					
③ 事業規模及び内容: カーキ小農農村発展計画 (世銀融資) において、当地区に 4ヶ所の普及事業所を設置工事中 (59.1月) 計画実行。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 頭互は無。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術者 (事業所職員)					
② 技術の範囲: 広範囲にわたる (農協というものを作っていく) 他、野菜栽培、家畜飼育指導 等、含まれる。					
③ 業務の形態: 1. 小農組織 設立、指導、運営 2. 野菜栽培・家畜飼育等指導 (含、講習会開催、計画立案) 3. 生産物の協同販売、農機具等の協同購入。 4. 他の普及員との定期会合による 19 個人スタッフへの技術的移転。 5. 3ヶ月毎の報告書提出。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート = 2名 (大卒、経験 4人 15年) 対象者 = 農民 (小卒程度, 15~50才)					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在は無し。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し (世銀お) 外国人技術者が参加を予定)					
⑦ 使用する言語: グアラニ語, スパイン語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 技術スタッフは、 農地、資金、労働力 (現有的もの) を活用し 農業収入を増加 地、生活水準を上げる事が目的。大卒スタッフ、外国人技術者 とあわせ、日本人には技術的移転は注目される。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○大卒 ○実務経験者 (カウンターパート及び、外国人技術者の レベルを考慮して) ○車、バイク免許					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

A-34

152 漁業協同組合

記入 昭和 59 年 8 月 30 日

調査責任者 赤星 剛 調査者氏名 黒木 隆

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Organización y Administración de Cooperativa Pesquera (日本語) 漁業協同組合指導	新規 <u>交替</u>	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): DIRECCION DE FOMENTO COOPERATIVO (日本語): 協同組合助成局					
② 隊員勤務先名称: DEPARTAMENTO AGROPECUARIO 日本語名称(農牧部)					
所在地: テグシガルパ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 沿岸各地に点在する漁業協同組合の組織、運営及び実際の漁業活動の指導を行なう。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 零細漁業発展プロジェクトにより、19tクラス12隻の漁船及び漁具資材が導入。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁業改良普及員					
② 技術の範囲: 漁業協同組合に関する組織・運営技能及び漁業実務を含む。					
③ 業務の形態: 19tクラス漁船導入による漁業協同組合事業拡大のため組合運営面での適切な助言及び未開発地区モスフニアでの新たな漁業協同組合の組織化と組合業務発展のための指導を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 漁業経験は有るが、経理的知識は乏しい。高卒程度で30~40才以下					
⑤ 現地で利用できる機材: 組合運営に関する各種伝票、集計表 組合巡回指導用の車					
⑥ 第3国人等の配置状況: テリ、ペルーの専内員					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
漁業協同組合事業の拡大に伴い、漁業に対する実務的知識を持ってその指導に当てる人材が非常に少ない。漁業という特殊性を考えた上での組合運営指導に対し、隊員に対する受入国の期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○(大学水産学部卒業) 経理・簿記の知識を有する。 漁業に対する実務経験、自動車の普通免許証を有する。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

#34

記入 昭和 58 年 9 月 日

調査者氏名

中垣長睦

153 村落開発普及員

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
	(現地公用語) Rural Development Officer (日本語) 村港開発普及員	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) *1人	59年8月	
(1) 配属先 { Ministry of Labour and Social Services }					
① 配属先名称 (現地公用語): Department of Social Development (日本語): 労働社会事務省, 社会開発局					
② 隊員勤務先名称: Social Development Staff Training College 日本語名称 () 所在地: Kitwe 市 or Manje 主要都市 () から キロ					
③ 事業規模及び内容: 村港開発に特化した社会開発局の職員研修大学であり, Kitwe と Manje にあり, 大学卒の6人のスタッフがあり, 村港開発の分野, 手法等につき指導している. 村港での実地研修と教室での指導は半々, 研修対象者は50-55人の研修生					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 1962年に建てられて () (年月日は58/年である) 社会開発局は, 1982年までに Department of Community Development と Department of Social Welfare が合併して新省となり5000人の職員を有する.					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 社会開発局における職員研修大学教官					
② 技術の範囲: 途上国における村港開発の調査と行う種々の分野 (農業生産の改善, 家内上乗の機械, 衛生改善, 水の供給等々) への対応の仕組み, 開発手法について指導					
③ 業務の形態: 社会開発局の職員研修大学において, 村 (たいてい広く村) での指導, 村港開発のやり方, 対象分野の, 範囲等について指導教授すると共に, 実際に村港に入り, 具体的にその村港における開発可能な手法などを調査し, 開発を実施する.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象者は, 社会開発局の職員と Form 3~5 (16歳年) 卒の職員採用対象者, カウンターパートは大学卒					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語 および現地語 (ヘンバ, トニカ, ニヤニニヤ等)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 社会開発局は500人近い社会開発普及員を擁し, 村港開発のため, かなり人財を全国各州に配属している. 普及員は, 成人に対する識字教育, 保健福祉, 婦人問題, 身障者の社会福祉, 老人対策等に携わると共に, 村港における生活改善のため, 健康手帳の改善, 牛手帳の導入, 衛生改善, 水の供給, housing 等々について村港の人々と共に考え, その普及に携わっている. より具体的な開発調査 (内視調査) などの経験, その実施方法について普及員の知識, 手法等についての改善, 案の向上が求められており, 隊員に対する期待も大きいものがある.					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)					
大学卒が望ましい.					
英語がよくできること.					
村港開発についての知識を有すること.					

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

160 食品加工

記入 昭和 年 月 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Food Chemistry	新規	(男) / 人	年 月	
	(日本語) 食品化学		(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education, Science and Technology (日本語): 教育科学技術省					
② 隊員勤務先名称: Jomo Kenyatta College of Agriculture & Technology 日本語名称 (ケニア工科大学) 所在地: P.O. Box 62000, Nairobi, Kenya 主要都市 (Nairobi) から 40 キロ					
③ 事業規模及び内容: 日本農産物振興センターに所属し、1981年採用されている。援助額は、60億円以内 あり、日本農産物振興センター外にあり。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 講師 (Lecturer)					
② 技術の範囲: 食品一般分析、G.C. 分析、微生物検査、食品分析					
③ 業務の形態: 英語に於て講義及び実習の指導 (7名、20名、2名の学生に対象とす)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ケニア工科大学卒業生					
⑤ 現地で利用できる機材: 食品一般分析用装置、食品分析装置 (G.C. 分析、微生物検査、食品分析装置)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中堅技術者の育成を目的とし、中・大企業に技術者として活躍 できる者を教育す。本邦には、食品加工の基礎知識、食品分析、食品工業的知識、食品 広範囲の知識と実習を通じて修得する。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 大学以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59年 2月 24日

161 農産物加工

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) PROCESO DE PRODUCTOS AGRI- COLAS	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農産物加工	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE FOMENTO COOPERATIVO (INFOCOOP)

(日本語): 組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: COOPERATIVA AGRICOLA INDUSTRIAL DE TIERRA BLANCA 日本語名称 (農産物加工組合)

所在地: ティエラ・ブランカ 主要都市からの距離 首都より 30キロ

ハ. 事業規模及び内容:

組合員数 1,000名

果実、野菜の加工品製造販売

ニ. 設備概要: 新工場建設中 (59年8月完成予定 建坪 1,265㎡)

現在は室内工業的規模で試作の段階

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 技術指導顧問

② 技術の範囲: 環語、英語、英語製造に係る技術全般

取扱い農産物: 人参、玉ねぎ、カリフラワー

(ジャガイモ、オレンジ、イチジク他)

③ 業務の形態: 工場勤務現場型、研究室勤務型

④ カウンターパート: 未定 (組合1名、コスタリカ大学1名が

助手として任命される予定)

⑤ 機材: 実験、製造に必要な機材、器具は揃っている

⑥ 本国: 59年6月迄 米國平和部隊1名(男) 配置

専攻 食品加工

⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

未だ試作の段階ではあるが、優良品質のものを製造し、国内市場はもとより、輸出商品として育てる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

◎ 大学生

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

R-6

161 農産物加工

記入 昭和 57 年 10 月 15 日

調査者氏名

岩間 勇
表名 田上 良

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) PROCESAMIENTO DE ALIMENTOS (日本語) 農産物加工 食品加工 (野菜・果物)	OS規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	58年7月	

(1) 配属先 ホンデュラス国立職業技術庁

① 配属先名称(現地公用語): Instituto Nacional de Formacion Profesional
(日本語): 国立職業技術庁

② 隊員勤務先名称: Oficina Regional Nor-Occidental 日本語名称(北西部事務所)
所在地: San Pedro Sula 主要都市(S.P.S.)から2キロ

③ 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は国家開発計画に基づき
産業振興の基礎となる人材養成(農・工・商の分野)を目的として
設立され、1979年より本格的な活動を開始された。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 食品加工部門に於いては、現在 San Pedro
Sula に食品加工実習場を建設中であり、協力隊より機材援助の計画あり

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 農牧教育課 指導員 (Instructor)

② 技術の範囲: 高度な技術は必要としない。野菜・果物のビン詰・カン詰に
ついての基礎知識と実務経験が必要である。

③ 業務の形態: 訓練センターの時間割は8:00 A.M. ~ 4:00 P.M. 4:00 P.M. ~
8:30 P.M. の内、後者7時間。隊員は農牧教育課に配属となり、初
級教育型の巡回指導を行なう。(1日の講習会に1~3週間を費やす
巡回指導) 現在、San Pedro Sula に食品加工実習場を建設中である
が、これが完成すれば、ここにおいて分析・加工の実験等を行ない、講
習会のプログラムとこの実態が可能となる。

対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 野菜ビン詰生産者組合の組合
員、とその子弟。一般市民への指導も可能。カウンターパートは農畜卒以上、25前後。

⑤ 現地で利用できる機材: 指導に必要な機材は協力隊より援助予定。
現地では鍋の沸騰水中でのみ殺菌を行ない、ビン詰製品として
いる。pHメーター・糖度計等の特殊な機材はない。

⑥ 第3国人等の配置状況: サン・ペドロ・スーラ・セントロ・ファイブ・クルーにドイツ人専門家

⑦ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ホンデュラスは第一次産業を基幹産業としており、食
品加工部門の開拓により、第一次産業の生産性向上と第二次産業の振興
が期待される。当国においては、食品加工学を学ぶ教育機関は、パン
・アメリカン農業高校にかぎらず、他の農業高校・短大・大学には存在しない
ため INFOP に建設された食品加工実習場に向けられる期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校(食品関係学科)卒業以上。実務経験があることが望ま
しい。食品の特性・加工工程を理論的に指導できるもの。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 6 月 10 日

(畜産物加工)
(~~家畜飼育~~) 164 畜産物加工

調査者氏名

三川 淳

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) PRIMARY INDUSTRY DEPT	新規	(男) 1 人	60年3月	
	(日本語) 中央畜産庁畜産局	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語):

(日本語): 中央畜産庁畜産局

② 隊員勤務先名称: ミリバゲ州畜産局

日本語名称()

所在地:

主要都市(ポラピビ)から 300キロ

③ 事業規模及び内容: 新たに開始する「地方畜産振興プロジェクト」のミリバゲ州と関係し、他の政州も含む。効率的な飼育、牛肉加工、及び皮革の生産等のプロジェクト

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: LIVESTOCK OFFICER (EXTENSION WORK)

② 技術の範囲: 肉牛の飼育、ト殺、及び牛肉加工(冷蔵)の知識、経験と有し、それを普及する事。

③ 業務の形態:

首都ポラピビにおいて、総合計画を執行。これに基づき、主にミリバゲ州を中心に PNG 国内各地の肉牛飼育、加工の技術指導を執行。将来には「マーケッティング」を執行する事あり。

対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第3国人等の配置状況: 英1人(元USO 持ち帰り)

⑦ 使用する言語: 英語、ヒンディー語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

85年からの Project をスタートし、84年度もすでに計画の遂行の準備が完了している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○肉牛飼育、及び牛肉加工(冷蔵)の技術と知識と有する事

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59 年 8 月 27 日

165 乳製品加工

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) PROCESO de PRODUCTOS LACTEOS	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 乳製品加工	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL de FOMENTO COOPERATIVO

(日本語): 組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: COOPECORONADO R.L. 日本語名称 (コ罗纳ド組合)

所在地: サンホセ 主要都市からの距離 (〜より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1971年設立の乳製品加工組合 加入組合員149名

取扱製品: 牛乳, 粉乳, バター, チーズ, ヨーグルト,

アイスクリュー, カスタード例

ニ. 設備概要: コ罗纳ド地区に加工工場, サルセロ市に牛乳集荷場

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 技術指導員

② 技術の範囲: 乳製品加工に関する理論・技術全般
乳品質管理の知識

③ 業務の形態: 工場勤務型, サルセロ方面への巡回指導もある

④ 対象者: 製造主任クラス (農業高校卒程度, 実務経験10年)
酪農家

⑤ 機材: 製造に要する機材・装置はすべて揃っている。

実験用機器は遠心分離器 冷蔵庫 秤り, フラスコ類他

⑥ 外国人: CANADA, U.S.A. の短期技術指導を受けたことがある。
現在無。

⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

乳製品は多種製造されているものの、その品質管理となると未だ低レベルである。
大多数の国民が日常的に利用している食品であるゆえに、品質管理面の向上技術
の確立が急務である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験も有する大卒を望ましい

記入 昭和 59 年 2 月 6 日

調査者氏名

166 水産物加工

野津善男 木村彰志

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fish Processing	新規	(男) 人	昭和 60年4月	
	(日本語) 水産物加工	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Panay State Polytechnic College,
(日本語): パナイ国立技術大学
- ② 隊員勤務先名称: P.S.P.C. Pontevedra Unit 日本語名称(同校ポンテベドラ校)
所在地: Pontevedra, Capiz Panay. 主要都市(コラス)から 25 キロ
- ③ 事業規模及び内容: Pontevedra Unit には College student が 約 500 名,
Secondary College student が 1000 名, 計 1500 名程の学生がいる。その内、水産学
部の学生が 約 100 名。他、農学部、家政、農水産教育学部などがあつた。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 後記の機材と実習室。実習室には顕微鏡,
DOX-ター, PHX-ター 他 の 機 材 が 一 応 あ る。

(2) 隊員の業務内容 教員 instructor

- ① 隊員の業務上の地位: 教員 instructor
- ② 技術の範囲: 各種水産加工物製造に関する理論、実践。製造にあたり、特別
な設備を必要としない加工物に関する知識があれば望ましい。
- ③ 業務の形態:
授業中心: 授業は講義と実習で構成される。講義で理論を教える
ため、実習でその理論を実践する。
余裕があれば地域住民に各種加工物の紹介、食品衛生、
食品保蔵の指導など。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

学生(16~20才), ただし Fish Processing Course は女子学生のみ。

⑤ 現地で利用できる機材:

グラインダー (粉砕機)
ハンドシーマー (手動巻き締め機)

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

学校の収入源となる様な加工品の開発, さらには地域住民の食品衛生
概念の向上, 促進。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

できれば水産学部, 製造系学科卒, さらにある程度の実務経験
があれば望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

210

記入 昭和 59 年 8 月 30 日

調査者氏名 宇里 廣治

166 水産物加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Transformation de produit de la mer (日本語) 水産物加工	新規 (交替)	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Centre d'expansion Rural Polyvalent (日本語): 農村近代化センター					
② 隊員勤務先名称: C.E.R.P de Loucha-Oualof 日本語名称(農村近代化センター(ウチ-ウオ)) 所在地: Loucha-Oualof 主要都市(Coussaye)から 7 キロ					
③ 事業規模及び内容: ・ Loucha-Oualof 郡の担当範囲であるが, Passauye 県も担当の必要あり。 ・ 漁村の水産加工の指導(燻製, 日干し, その他の水産物加工品...等)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ・ 本来の設備は皆無(強いては露天の日干し, 及び燻製である)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: C.E.R.P の技術職員					
② 技術の範囲: 燻製, 日干しの指導, と今の作成も知る必要あり... 4000 水産物加工等。 の知識を身に付けておくこと。					
③ 業務の形態: 8:00 ~ 12:00 3:00 ~ 6:00 勤務特肉 であるが, 漁村の立地環境が離れて, まぼろしな為, 強いては 外回りで, 指導, 作成...等を行なわなければならない。 特肉を授受する時は難しい。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カカワ-ハ-トは東内学校卒の技術。 : 対象者 技術水準は方法こそ, 悪くは無いが, 学歴は中学程度。					
⑤ 現地で利用できる機材: : ナタ, 包丁, 砥石, 罎を秤り, 三ヶ用の器械, 木+炭鉢, 糖度計。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 特別な配置は行われておらず, 現地スタッフと同等配置					
⑦ 使用する言語: 公用語はフランス語, 現地語として ジョラ, セーレ, ヴオロフ)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ・ 流通経路の悪い所に加工水揚げが勿論, 中には鮮魚消化が 難しいが, 受入国の保存製品に対する期待は非常に高いと聞かす。 燻製品, 日干し製品, 及びその他の加工品への方向性が強い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 1. ① 水産加工品(燻製, 日干し, 及びカボコ等)に対する知識, 及び衛生管理の ある人, ② 燻製等の作製知識が欲しい, ③ 陽気で順応性のある人。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

72

記入 昭和 59 年 9 月 14 日

調査者氏名

170 森林経営

松尾邦義 (JICA/TOCV) マニラ事務所

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン共和国	(現地公用語) Forestry (日本語) 林業 森林経営	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60 年 7 月	
(1) 配属先 Don Mariano Marcos Memorial Polytechnic State College					
① 配属先名称 (現地公用語): (DMMMPSC) of Northern Mindanao, College of Forestry (日本語): ドンマリアン・マニラ記念大学 林学部					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称: ()					
所在地: Imitao (5 年制) 主要都市 (Cagayan de Oro) から西 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: 林学部はカカポ・ボボ市内に存在する DMMMPSC の本学部とは別棟 2 (satellite) 存在し、学生数約 100 名、教授数 7 名、内 4 名は森林学の専任教授。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 同大学学部の客員教授					
② 技術の範囲: 林学(教育) 一般の理論、知識、基礎実習、研究の方法論					
③ 業務の形態: (i) 上記大学学部に所属し、林学関係の教授と協力しながら、授業、実習と受け持つこととし、即実効が及ぶ林学教育の進展と図る。 (ii) 竹 (rattan), ラン (orchid), 他 w. i. w. (ipil-ipil) の植林の重要性の鑑み、近隣の生態調査、植林調査、植林実習を指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 林学の専門科国語に相当する教授は 4 人。					
⑤ 現地で利用できる機材: ナーサリー等。Bureau of Forestry development の seedling 9 人年分可能。 rattan hard wood timber					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語、セブアノ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: Satellite (上記の) の存在は現地の、卒業生を育成するが、その分、その分野 (林学) への協力と期待が程及ぶ。このため唯一の林学系の本学部として、協力隊の派遣の意味、その外は大いに思われる。従って、この分野の技術的支援が望まれる。また、この分野の潜在的な可能性も大きい。以上、生態学等についても、その potential は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 4 年制大学 (林学部 (林学専攻) 4) 実習経験 以上 2 年。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

マレ

記入 昭和 59 年 6 月 13 日

調査者氏名 浜田 眞一

170 森林経営

芹沢利文 (56/3 次隊)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレイシア (サバ)	(現地公用語) Wood Technology (日本語) 木材工学 (森林経営可)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Forest Department, SABAH. (日本語): サバ州森林局					
② 隊員勤務先名称: Forest Research Centre 日本語名称 (森林研究所) 所在地: P.O. Box 1407, Sepilok, Sandakan 主要都市 (サンダカン) から 24 キロ					
③ 事業規模及び内容: 森林研究所は、森林局の付属機関で唯一のものである。 12 部門より構成され、スタッフは、150 人位。サバ州各地にステーションを 持ち、森林の木材等に関する研究を行っている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 1974 年 10 月に創設され、研究棟、実験場あり。 公用車約 15 台、他、各種実験器具がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Forest Research Officer、部長を補佐する (木材組織担当)					
② 技術の範囲: サバ産材の組織構造を肉眼及び顕微鏡により観察し、その識別法の 研究、また木材切片製作、保存、写真撮影等。					
③ 業務の形態: 研究室内でテストワーク及びサンプリングのためのフィールドワーク 現地スタッフに内外の業務を通じ技術を伝える。					
(対象とする木材標本は、約 1000 種 4000 弱)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 基礎知識のみ、高卒 24才					
⑤ 現地で利用できる機材: ① 光学顕微鏡 (一般生物、落射型照明表面観察用偏光顕微鏡) ② オリンパス 顕微鏡写真撮影装置一式 ③ 実体顕微鏡 ④ ミクロトーム ⑤ 強度試験機 (ドイツ製) ⑥ 野外木材採集道具一式 などなど					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: FAO、英国人 (1人)、カナダボランティア (1人)					
⑦ 使用する言語: 英語 (業務上は、英語主体であるが、日常生活は、マレー語主体とする)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 12 の研究職のポストの大半が空席で、人材不足は 深刻であり、中堅の研究員の育成が急務である。サバ州は商業材の宝庫とい われるものの、未利用材の有効利用が必要であり、木材工学への 隊員受入には、植林部門と同じ位の期待が持たれている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒 (森林利用学又は林産製造学専攻が望ましい)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

7/10

記入 昭和 59年 9月 14日

調査者氏名

170 森林経営

浜田 眞一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スレイシア (サバ)	(現地公用語) Plantation Officer (日本語) 森林経営	新規 交番	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Forest Department (日本語): 森林局					
② 隊員勤務先名称: Forest Research Center 日本語名称(森林研究所) 所在地: セピロフ, サンダカン市 主要都市(サンゴン)から20数キロ					
③ 事業規模及び内容: 森林研究所は森林局の付属機関で唯一のものである。 12部門より構成され、スタッフは150人位。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 研究所は、1974年10月に創設され、研究棟と 実験場等がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Plantation Officer (所長補佐)					
② 技術の範囲: 測樹及び間伐など、造林に関する一般的知識と経験。 (ただし、林学科造林専攻卒業であれば経験は問わない)					
③ 業務の形態: フィールドと室内業務に分かれ、フィールドにおいては、 アシスタントや労働者を連れ、測樹及び間伐を行い、室内においては 測樹で得たデータをもちき立木材積表などの資料を作成する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 造林地林業に関する基礎知識の付、 高卒程度、20~26才					
⑤ 現地で利用できる機材: 一般的造林関係機材他、2170コンクリーター(207 M2-80B, JOCV寄贈)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 同じセクションに2170コンクリーター担当のCUSO 1名					
⑦ 使用する言語: 英語 (日常生活や労働者に対しては、スレー語も必要)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 2代目の隊員として、前任者とはかなりの年月が 過ぎ、実質的引継ぎはなすが、林業の原点とも言うべき、同じセクション において、森林資源の回復しつつあると言われているところ、その実態を 把握することにより、今後の森林経営に役立てようとする森林局と しても重要な業務の一翼を担うこととなる					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○大卒 (林学科卒)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

マレ11

記入 昭和 59年 9月 14日

調査者氏名

170 森林経営

浜田 眞一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (サバ)	(現地公用語) Forest Management (日本語) 森林経営	新規 交替	(男) 2人 (女) 人 (男女不問) 人	60年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Project Investment Unit, J.K.M (日本語): 首席大臣局. プロジェクト投資部					
② 隊員勤務先名称: Sabah Forest Industries SDN. BHD 日本語名称(サバ州森林工業会社) 所在地: コタキナバル市 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 職員数 100名. 労働者 1000名と有し. 造林から製紙まで 幅広い業務を行い. 将来は. 独立採算を目標としている.					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): コタキナバルの HEAD OFFICE の他. シンガポール工場 と持し. 州内各地に 政府から 分譲地を森林と持つ.					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ① Nursery Manager ② Plantation Manager					
② 技術の範囲: 養樹園の管理. 及び 造林地の管理が主たる業務である.					
③ 業務の形態: 現地において. ローカルスタッフに対し. 指導助言する. 管理者として. 技術的側面において. 可なり 一位である.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 高卒. 或る 大卒. 20~30才					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし.					
⑦ 使用する言語: 英語 (労働者に対しては. マレー語もあるが. 赴任後の独学で済)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 会社組織のプロジェクトとしては. 新規に このプロジェクトが軌道に乗れば. 政府から民間へと独立採算 への道と歩むこととなるので. 一種のモデルケースといえる.					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○大学卒(造林関係専攻)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

28

記入 昭和 59 年 9 月 12 日

調査者氏名

170 森林経営

中原正孝

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	Forestry 森林経営	新規 交替	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	60 年 7 月 11 (1)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Forests, Department of Forests					
(日本語): 森林省 森林局					
② 隊員勤務先名称: Community Forestry Development Project 日本語名称(地域共同伐採開発計画)					
所在地: 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 当国(ネパール)の政府の森林政策として「森林省」(Forestry Department)の技術助成として世界銀行の財政援助により 1979 年 7 月から行っている CFDP (地域共同伐採開発計画) 主要 2 箇州に入っている。計画では当該国(ネパール)内 29 郡にキルギル相当の地区にて森林開発を					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 木材行 13 軒にわたる。(18 名体制)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 各箇州の CFDP 専任の CFA (Community Forestry Assistant = 林業補助員) の指導					
② 技術の範囲: 及び DFO (District Forest Officer) の協力。同連 Associate Expert と同等。林業普及 着樹 用種林					
③ 業務の形態: 1) パンチャヤットの造林・経営の企画・及び実行 2) 苗畑造成・維持・管理 3) CFA, PFF (Panchayat Forest Foreman 苗畑管理人) PFW (Panchayat Forest Watcher 山林監視人) の指導・訓練 4) 林道の構築 5) 林業普及の普及					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 専任 CFA, PFF, 兼務村長は現任住民及び 箇州長					
⑤ 現地で利用できる機材: 山歩きに必要と思わしきものは利用可 (FAO 世界銀行の援助)					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: FAO 技術顧問、米、英、印、ド、ラ、の Associate Expert やボランティア					
⑦ 使用する言語: ネパール語 (但し、印刷報告書や定例ミーティングは英語でコミュニケーションが可能な方)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネパール国民の最も大きな生活苦悩は薪の不足(薪不足)が、増加に伴って年々薪需要が増え森林は破壊的に荒廃を遂げている。こうした森林の荒廃は薪・飼料の不足に結びつき、飲料水不足、汚染、山くずれ、地すべり等深刻な問題を引き起こしている。ネパール国民の生活苦悩は非常に大きい。JOCV 隊員は 55% 以上が降参り者や活動しており、その評価も高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 林業関係 林業科卒以上 実務経験 2 年					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59年 8月 20日

173 生態調査

調査者氏名 木下 史夫 藤田 勇一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語) Vegetation & Ecological Research	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 動植物生態調査官	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 2人	受入期限 60年11月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Land and Natural Resources

(日本語): 土地資源省 (South Luangwa National Park)

2. 隊員勤務先名称: Kafue National Park

日本語名称 (カフエ国立公園 or 南カフエ国立公園)

所在地: Ngoma Camp, P.O. Box 17, Iteshi-Teshi 主要都市からの距離 (計り350キロ)

ハ. 事業規模及び内容: カフエ国立公園はガンビア19カ所にある国立公園中最大の22400km²の面積をもつ。公園内での調査活動は1975年以降ほとんど行われておらず、公園管理の基礎的資料として重要な野生動物の調査が望まれている。

ニ. 設備概要: カフエ国立公園には200名程の職員及び家族が住み、各種木造、宿泊設備、水道、電気(定時自家発電)、クリニック、観光客用ロッジ、小型機用飛行場(カフエより5km)がある。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は公園内のキャンプに住み、自分で作成した調査計画に基づいて野生動物に関する調査、研究を行ない、その結果を国立公園局 (Dept. of National Parks & Wildlife Service) に提出する。

① 業務上の地位: 生態調査官 (Wildlife Biologist) 身分証明書が発行される。

② 技術上の範囲: 野生動植物に関する調査、研究を計画し、4~5名のアシスタントと共に調査を実施、その結果を報告書としてまとめることが期待される。

③ 業務の形態: 調査研究チーム及び方法については隊員自身のアイディアによる。しかし調査用機材等は不十分であったため、限られた条件の中で調査を行なう工夫が必要である。

④ カウンタート: フェルディナント・レンジャー(1名)が直接のアシスタントとなる。他に、外国の大学にて Wildlife Management を学び帰国して生態調査官と共同調査を行なう可能性もある。

⑤ 機材: 局本部にはほとんど使用可能な調査機材はない。既にJOCVAの機材として双眼鏡、フィールドブック、カメラ等があり、近く入手可能な物として通風乾燥器、各種計測器類がある。(別記リスト参照) 隊員の調査研究チームにたいし、こちらにない機材は赴任時に携行していただくことが望ましい。

⑥ 外国ボランティア・専門家: なし

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の抱える国立公園、狩猟区及び沼に生息する野生動物は、観光、ハンティングにおいて外貨を得るための重要な資源といえる。しかし現在、沼に生息する野生動物の現状はほとんど調べられていない。経済状況の悪化により生態調査に十分な力を注ぐことができない。ガンビア当局は、この業種に関する日本の援助に強い期待をよせている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 1. 大学卒以上 (業務上の地位の関係上25才以上が望ましい) 2. この業種に関しては日本での実務経験を同程度のものは望ましいが、できるだけフィールドの経験が望ましい。このことが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 1 日

調査者氏名

長谷 孝



176 製材場機器

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
RWANDA	(現地公用語) (日本語) 電気工事 製材場 機器	新規 (交替)	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語):					
(日本語): 農業天然資源省					
② 隊員勤務先名称: 日本語名称()					
所在地: BLANTYRE SAWMILL 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
南部地区の森林の木材の製材、器具製造に 一手に行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ELECTRICAL ENGINEER.					
② 技術の範囲:					
BLANTYRE SAWMILL 内に於ける製材機器の					
③ 業務の形態:					
保守、管理 及び 修理。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
④ 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
電気工事士					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和57年7月26日

調査者氏名

倉持 繁

181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エリトリア	(現地公用語) <u>ضمير الصيرى</u> (日本語) <u>漁具漁法</u>	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交番	(男) 1人 (女) 0人 (男女不問) 0人	58年1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): <u>المؤسسة العامة للأسماك</u> (日本語): <u>農業省水産局 水産公司</u>					
② 隊員勤務先名称: <u>فرع الصيرى</u> 日本語名称() 所在地: <u>39キア市内</u> 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: <u>職員13名 漁船員21名 80ト-360HP 鋼製底曳10-13隻を運用。</u>					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>80ト-360HP 鋼製底曳 底曳兼用漁船3隻 針金採</u> <u>レーダー、マグネット、ネット、55-60は ソー、50-102 ネット、ソー、DSC等装備。</u>					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: <u>船長</u>					
② 技術の範囲: <u>日本に於ける同規模 底曳トール漁船船長と同等もしくは準ずる</u> <u>技術が要求される。</u>					
③ 業務の形態: <u>必要となる業務に兼任する。豊度の高い国内漁場からより豊度の高い</u> <u>国外漁場での採集が行われる。現在トール、イカ、カニ、沖公海上での</u> <u>採集が行われている。この様により豊度高い新漁場開拓とそこで</u> <u>採集継続に必要な技術指導が望まれている。</u>					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <u>乗船時-現地船長 学歴なし 年齢45-60才</u> <u>支所勤務時-支所スタッフ 大卒 年齢30-45才</u>					
⑤ 現地で利用できる機材: <u>(1) ④ 設備概要参照。</u>					
⑥ 第3国人等の配置状況: <u>なし、但し、漁業JICAの漁業専門家(漁船船長)が派遣される可能性がある。</u>					
⑦ 使用する言語: <u>乗船時はアラビア語、支所に於いては英語の使用あり。</u>					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>エリトリアに於いて、漁業に関し豊富な経験、技術</u> <u>を有する者が少ない為、当該隊員の派遣は懇望されている。</u>					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>水産高校専攻科又は水産大学専攻科卒業。</u> <u>(水産専攻科又は水産大学専攻科) 乗船履歴3年又は卒業後1年以上</u> <u>研修1-2年間の研修が必要。</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

113

記入 昭和 59 年 4 月 30 日

調査者氏名 熊野秀一

181 漁具・漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Fishing Gear Technologist. (日本語) 漁具・漁法	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Tourism and Wildlife (日本語): 観光野生動物省					
② 隊員勤務先名称: Fisheries Department Nyanza Province 日本語名称(ニアンザ水産局) 所在地: キスム 主要都市(キスム)から 4キロ					
③ 事業規模及び内容: Provincial Fisheries Officeのため、その事業規模は大き、職員の数も200名を越える。ケニア・ビクトリア湖は全域管轄下で、漁具作成、養殖、造船、漁業権の認可などが主な事業内容である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所がW下記(2)④参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: はっきりした地位はないが、オフィサー・クラスと考えてよい。					
② 技術の範囲: 下記(4)参照					
③ 業務の形態: 水産局職員、漁民への漁具作成及び改良指導を行なう。 また、ビクトリア湖周域にある各地区の魚市場を回り、漁民と水産局とのパイプ役になることも重要な仕事のひとつである。 その他、養殖事業、水族館等の手伝いもある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 編組作業はできるが、設計はできない。 中学卒業程度、年齢は20~35才位。					
⑤ 現地で利用できる機材: 小型ローカル用ボート2隻(約7ton)、FRPボート(刺網用)1隻 船外機(25HP)、ボランティア用倉庫有り。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 英語、ルオ語、スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
ケニア側はとにかく資材・機材を日本より送ってもらうことが期待しているが、水産局職員の中には、真剣に漁具漁法についての知識を修得したかっている者も数多い。また、漁民の中にも同様な人達がいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>基礎的漁具漁法学</u> 刺網(船三枚網)、小型ローカル網(板曳)、巻き網、地曳網、の設計及び作成。 投網ができること望ましい、ボートに乗れる。 <u>やる気</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

か3

記入 昭和 59 年 2 月 9 日

8/4(土)

181 漁具 漁法

調査者氏名 金山昌功

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガナ	(現地公用語) FISHING GEAR AND METHODS (日本語) 漁具 漁法 (淡水)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年3月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): VOLTA RIVER AUTHORITY (V.R.A.)
(日本語): ボルタ河川公社
- ② 隊員勤務先名称: KPANDU-TORKOR FISHING TRAINING SCHOOL (日本語名称: パンドトコ漁業訓練学校)
所在地: KPANDU-VOLTA REGION 主要都市(アクラ)から200キロ
- ③ 事業規模及び内容: ボルタ湖周辺の人々に対して生業確保の為 V.R.A.が漁業訓練を実施している。反行面では農業省漁業局のサポートを受け、ボート製造、漁法(サニ網×ツジサバ 4~7.5インチ)船外機保守、水産加工の4科目を15ヶ月で履習。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):
実習用ボート2隻、船外機4台、船外機ワークショップ、造船ワークショップ、教室、事務室。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: INSTRUCTOR
- ② 技術の範囲: 漁業の初歩から理論面、実習面ともに教える。漁法は船外機付カヌーでサニ網(GILL NET)×ツジサバ 4~7.5インチ、魚種、エラブ、910-7、ナマス。
- ③ 業務の形態:
漁業学校の INSTRUCTOR として現地のカウンターパートと共に15ヶ月コースのカリキュラム編成から始め、6ヶ月間の理論、9ヶ月間の実習の後、漁師として生業かたで活躍する。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者 中年 年齢 40~50
人数は各年 45~60人を予定 カウンターパート 4人

- ⑤ 現地で利用できる機材:
実習用ボート2隻、船外機4台

- ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

- ⑦ 使用する言語: 英語

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待:
日本政府からの援助で VRA に対し、船外機及びパーツの供給が100%を予定しており、これを機会に沈滞気味であった当訓練校の機能を再活性化したい。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
訓練カリキュラムの作成等必要であり体系的な漁業教育を受けた人が望ましい。
漁業の経験者又は漁業技術に身に付いた人

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

セ11

記入 昭和 59 年 8 月 29 日

調査者氏名 鹿釜 真一

181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Appareux et Methodes de (日本語) 漁具 漁法	新規 peche	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60 年 10 月	

- (1) 配属先
- ① 配属先名称(現地公用語): C.E.R à Toubaouta
(日本語): 地域住民育成庁 農村近代化センター
- ② 隊員勤務先名称: C.E.R. à Toubaouta 日本語名称()
所在地: Toubaouta (Region de Fatick) 主要都市(Kaolack)から 67 #0
- ③ 事業規模及び内容: C.E.R の出先は各都市・各町・各村にあり事務所は所長
専門職員(水産・農業・畜産等)数名で構成され各種の
巡回指導・相談にのりプロジェクトを実行している。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、及び職員住宅、車、及び多少の機材

- (2) 隊員の業務内容
- ① 隊員の業務上の地位: C.E.R の巡回指導員
- ② 技術の範囲: 漁法は主に刺網で、2メートル以内の浅海及び外洋に出る
漁も行っている。漁具に改良を含め等して漁獲拡大を主に行っている。
- ③ 業務の形態: 主に Missirah 村を中心として、新型漁具の作製・デモンスト
レーションを行う。巡回指導員
また各漁村の巡回指導にもあたります。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 漁民
カウンターパートも1人1人が水産局職員が大変協力的である。
- ⑤ 現地で利用できる機材: テクズ刺網、三枚刺網 小型ボート(12ハ)1隻
船外機は現在申請中
- ⑥ 第3国人等の配置状況: なし
- ⑦ 使用する言語: 仏語、2〜3の現地語(ワロ、ズン、インゴ等)

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待:
- Toubaouta の管轄範囲の中心は Missirah 村であり、これは
National park であり 漁村も漁具に現在しているの巡回
漁具及び漁法のデモンストレーション、指導等々新技術の導入を
期待している。

- (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):
- 漁具・漁法に詳しい機械で刺網等の作製・工夫(改良)等々の
できる者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和58年3月1日

181 漁具 漁法

調査者氏名 表 孝雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) ARTE DE PESCA	(男) 1 人	訓練開始 58年10月
	(日本語) 漁具 漁法	(女) 1 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 59年1月 受入期限 59年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

CENTRO

1. 配属先名称 (現地公用語) UNIVERSITARIO DE OCCIDENTE UNIV. DE COSTA RICA

(日本語): 西部大学センター

2. 隊員勤務先名称: DIVISION DE PESQUERIA Y NAUTICA 日本語名称 (コスタリカ大学水産学部)

所在地: Puntarenas

主要都市からの距離 茂木より120キロ

3. 事業規模及び内容: 本学部 (2月6ヶ月制) は 1979年に新設され

持来当国の水産関係官公庁の取組及び船舶幹部取組を
養成する。

4. 設備概要: 校舎一棟。若干の書籍と漁具展示室 (初代隊員作成)

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 大学講師

② 技術の範囲: 次の教科目について教授する

(A) 漁具学 (漁具材料, 漁具物理設計法)

(B) 漁法学 (曳網, 旋網, 刺網, 延縄 etc)

(C) 漁具実習 (漁具製作, 修理 etc)

③ 業務の形態: 教室型

④ 対象者: 青年

カウンター・パート: Sr Oscar Porras 4人に留学し初代隊員の名義08

がも教授されており一通りの知識は有にしている。

5. 利用できる機材: 一通り揃っており撥行してくる物はない。

⑥ 邦国人の配置: なし

⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: カウンター・パートは一通りの知識を有にあり

留学予定につき どの向の代行が期待されている。二代目隊員の専攻が

漁具設計であったことから ~~初代~~ 初代隊員のような教授は期待できず

留学できる場合と考慮し 漁具漁法 専攻攻法者が赴任することが期待され

ている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学水産学部漁業学科卒で 漁具漁法学 若しくは漁撈学を専攻した者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

h-15

181 漁具 漁法

記入 昭和 59 年 8 月 26 日

調査者氏名 黒木 隆
調査責任者 黒木 隆

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ボリビア	(現地公用語) Artes de pesca (日本語) 漁具 漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	早急 60年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Oficina de proyecto Desarrollo de pesca Artesanal (日本語): 沿岸零細漁業開発プロジェクト事務所					
② 隊員勤務先名称: 別添参照 日本語名称(別添参照)					
所在地: Trujillo, Tala, cerca Rv Coyolito 主要都市(別添参照)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 別添参照					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): Tala地区のルテマ漁業協同組合連合会は三菱のランチ(8馬力ジゼル機関)及び他の3ヶ所の連合会は200馬力級の漁船(200馬力ジゼル機関)も4隻づつ所有。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁具 漁法 巡回指導員					
② 技術の範囲: 手釣り、延縄、罟(蝦、伊勢エビ、魚類)、刺網の各漁法及び網類の修理、仕立て。出来れば操船技術取得者がベター。					
③ 業務の形態: 各連合会が所有している漁船及び漁具を使用し、漁撈技術、各漁具の修理、仕立て等を巡回しながら指導する。 組合員を対象にして					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は組合員にて、旧い組合員は今の技術隊員並の指導に基礎的知識を有しているが、新規組合員の場合、網修理も満足に出来ずレベルが低い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 各連合会所有の漁船、及び漁具にて、延縄、罟、刺網等。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 当プロジェクトの技術指導監督としてアルゼンチン漁業専門家一名。					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: アルゼンチン人専門家、及び日本で研修を受けたボリビア人の計三名にて生産面における技術指導をしているが、手不足であり、又年末アルゼンチン人専門家が帰国すると、ボリビア人の中には水産知識及び教育水準の低さにより、当プロジェクトの生産面での運営が困難となり、是非この隊員の指導、技術移取により、当プロジェクトの円滑に遂行して欲しい事。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 学歴は同女子、ボリビアの小型船に於ける延縄、刺網、又手釣り漁法の経験と有する者。且つ操船経験と有する者が必要とされる。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

h-35

記入 昭和 59 年 8 月 30 日

181 漁具漁法

調査者氏名 九尾 逸部
岸 早 到 記

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンジュラス	(現地公用語) arte de pesca	新規	(男) 1 人	60年 / 月	
	(日本語) 漁具漁法	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Dirección General de Recursos Naturales Renovables					
(日本語): 天然資源省更生総局					
② 隊員勤務先名称: Barco de investigación 日本語名称(調査船)					
所在地: Puerto Cortés 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 5t型, 19t型 2隻の船を使い カリブ海沿岸の生物資源調査及び漁具の改良普及。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 海洋観測機器類, 漁具(ハル網, 刺網, 並網, 伊勢エビカゴ等)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産技師 4名					
② 技術の範囲: 操船, 操業指示, データ集, データ分析					
③ 業務の形態: 5t型の船の場合は2泊3日 19t型の船の場合は1週間(5, 10日)の航海を行い 操業 海洋観測を行う 荒天時以外は操業 荒天時は予知して 休みなし データはまとめて3月に1度位の割合で所属先に報告書を提出する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: ロンIV 29才 中学卒 オン 29才 中学退 バルI 29才 中学退 漁具漁法には表面的知識はある					
⑤ 現地で利用できる機材: 協力隊から支給した漁具, 及び現地の材料で隊員が作った漁具 (ハル網, はねお, えびかご, 刺網等)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 南部サロニヤに中国シロV, テラ布にバリスシロV					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在, 隊員2名 カンタパート3名 計5名でチームを組み カリブ海各種調査を行っているが カンタパートだけで運営は必ずしもどうでも日本人の助言, 技術等に必要に応じて又, 調査船を管理している 海洋調査部予算のほとんどはこの2隻の運行に費やされている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 水産高校卒以上, 実務経験のある人, 体力のある人					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

11

記入 昭和 59 年 3 月 2 日

調査者氏名 豊嶋 一郎

181 漁具漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
トニカ王国	(現地公用語) FISHING GEAR & METHODS (日本語) 漁具漁法	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60 年 1 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE, FORESTS & FISHERIES					
(日本語): 農林水産省					
② 隊員勤務先名称: FISHERIES DIVISION 日本語名称 (水産局)					
所在地: Nuku'alofa 主要都市 (フアア) から 一 キロ					
③ 事業規模及び内容: トニカの水産局である。水産行政のほか、実際の操業、漁船建造、漁具漁法の試験研究等を行っている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 日本の援助による建物約 200m ² のほか約 200トンのまぐろかつお漁船ほか数隻の実習船を所有。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁具漁法技術者					
② 技術の範囲: 主にトンガ沖合漁業の漁具漁法一般、小型捲網漁業の知識と経験が望ましい。					
③ 業務の形態: 陸上での漁具製作と海での試験操業。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 中学、高卒程度					
⑤ 現地で利用できる機材: 必要なものをすべて揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 水産局には隊員以外に欧米人専門員等若干名あり。					
⑦ 使用する言語: 英語 (トンガ語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: トニカの水産局は日本からの物質的・人的援助に負うところであり、この要請は 56/3 次隊 橋本 三郎 隊員の交替要請である。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
○水産高校漁撈科卒以上 漁具の製作や試験研究の経験者。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59年 7月 1日

調査者氏名

181 漁具 漁法

三川 遼

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Fisheries Methods & Gear	新規	(男) 1人	60年3月	
	(日本語) 漁具 漁法	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): East New Britain Prov. Primary Indust. Division					
(日本語):					
② 隊員勤務先名称: 東ニューブリタニア州 水産産業局 水産部					
日本語名称()					
所在地: 三バババ					
主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 日本、海外漁業協力隊(国)が、行っている F/S 調査の実施を 行う。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries Officer					
② 技術の範囲: 沿岸漁業指導と漁具の取扱い 又 魚獲物の保存法にか き知識 - 経験者					
③ 業務の形態: スタッフ及び沿岸漁民への漁法及び漁具についての技術指導 又 魚獲物の貯蔵方法(クーラー等)の技術指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: JICAの職員(60年3月まで) 経験者					
⑤ 現地で利用できる機材: 漁船(約10ton) 漁具					
⑥ 第3国人等の配置状況: 日本人専任職員(OFCFA) 60年8月まで					
⑦ 使用する言語: 英語及びローカル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本、海外漁業協力隊(国)が、行っている F/S の変わりに沿岸漁民に漁具漁法の普及を期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 漁業の実務経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59年 6月 日

調査者氏名

三川 淳

181 漁具・漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Fishery Gear Technology (日本語) 漁具・漁法	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MADANG PROV. PRIMARY INDUSTRIES DIVISION (日本語): マダニ州 水産庁 漁業部					
② 隊員勤務先名称: 日本語名称() 所在地: マダニ 主要都市(ポートマスビ)から 200キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fishery Officer					
② 技術の範囲: 沿岸漁業の実践と漁具の知識を要す。又 漁具類の修理や、船舶曳舟の操縦法等も知識を要す。					
③ 業務の形態: マダニ 水産庁において、マダニ州 沿岸漁民の漁具・漁法指導を行う。					
対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 小型船舶、冷機等					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 主にピカピ英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大学水産学部卒 沿岸漁業経験1年以上					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 13 日

調査者氏名 河西 達

181 漁具漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィジー	(現地公用語) FISHERIES ENGINEER	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 漁具漁法	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): FISHERIES DEPARTMENT MINISTRY OF PRIMARY INDUSTRIES
(日本語): 水産省

② 隊員勤務先名称: IKA CORPORATION 日本語名称(イカ漁業公社)
所在地: LAMI(ラミ) 主要都市(スバ)から 7 キロ

③ 事業規模及び内容: 同公社の所有船 9 隻 其他 公社との契約船(日本船 2 隻)等がある。公社総裁
と JICA 派遣員の間(赴任後)より JICA との契約終了後、2 年向船員として勤務していた経験
がある。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位:

② 技術の範囲:

③ 業務の形態: 日本漁船との直線連絡 IKA 所有船(9 隻)からのデータ収集、分析

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第 3 国人等の配置状況: 公社総裁 1 人、日本人専任 2 人(船長 1 人、船医 1 人)

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒、まぐろ漁業に理解のある者

記入 昭和 59 年 3 月 6 日

調査者氏名 野津善男

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 養殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (日本語): 水産資源局 (フィリピン行政事務所)					
② 隊員勤務先名称: Quezón Provincial Fishery Office 日本語名称(フィリピン水産事務所) 所在地: Cabarroguis, Quezón 主要都市(マニラ)から約350キロ					
③ 事業規模及び内容: 貯水池(約5ha)でタイセウ網1マス養殖実験を おこなっている。他にKKKのプロジェクトで1250個のマス 養殖の技術指導もおこなっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ① 貯水池全景 ② 1マス全景 ③ 1マス近景					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産技術指導員					
② 技術の範囲: タイセウ網の種苗生産、1マス養殖の知識・技術					
③ 業務の形態: 州政府と共同でおこなっている1マス養殖の実験をやるのとともに 実際に生産する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大半はフィリピン実務経験者とほしい					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語、ヘブライ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
フィリピンは山岳地帯であり、州内の水体を利用してタイセウ網養殖をやるのはいい けれども自給で足りない状況をつくり出すことが望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
魚類養殖に興味と知識のある人					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

724

記入 昭和 59 年 3 月 6 日

調査者氏名 野 津 善 男

182 養

殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 養殖	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語) Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (日本語): 水産資源局					
② 隊員勤務先名称: Isabela Provincial Fishery Office 日本語名称(イサバ州水産事務所) 所在地: San Mateo, Isabela 主要都市(マニラ)から約330キロ					
③ 事業規模及び内容: 養殖池(4圃), コンクリートタンク(20圃)を有する種苗生産場を有する。1983年度の種苗生産量は約160万尾(ティラピア、ニロチア)、総面積約1ha。その他 Hagat 湖において仮養殖実験も行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ① 設備 ② 仮養殖 ③ 同					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産技術普及員					
② 技術の範囲: ティラピア養殖に関する知識及び技術の紹介、指導等(仮養殖)					
③ 業務の形態: 本場においてティラピアの種苗生産をするとともに仮養殖実験も行っている。他に K.K.K. コーポレーションの指導も行っている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大半知識及び実務経験に乏しい。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語、ロコ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マニラ湖(約43ha)を利用しての魚類生産が強く期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 魚類養殖に興味と知識のある人					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

182 養 殖

記入昭和 59 年 9 月 26 日

調査者氏名 鈴木 信一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	淡水養殖(淡水漁業)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of University Affairs
(日本語): 大学庁
2. 隊員勤務先名称: Maejo Institute of Agricultural Technology 日本語名称 (マエト農科大学)
所在地: アイソマイ 主要都市からの距離 (より600キロ)
3. 事業規模及び内容: アイソマイの農科大学(IAT)はタイ唯一の4年制の国立農業大学であり
農業経営, 農業生産の2学部から成っている。

2. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: 教官(Instructor)
2. 技術の範囲及び業務の形態: 隊員は同大学農業生産学部動物学科内水面漁業課に所属し
淡水養殖, 淡水漁業研究室における実験・研究の指導, 研究作製の整備・改善を行う他学生に対して淡水養殖・淡水漁業についての講義を行う。また大学が行っている
周辺農民の普及訓練コースに参加しタイ側カウンターパートととも
に訓練にあたる。
3. 対象者及びカウンターパートの技術水準: 指導の対象は動物学科の学部学生(30-50人)である。
IAIは4年生大学であり、文部省管轄のAgricultural College
(高校3年短大2年)に較べ学生の質は高い。
4. 機材: 基本的機材は一通りあるが充分ではない。
5. 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

大学教育に於ても一般的に理論の講義が中心となり単なる知識の取得に止まり、研究、実験、実習等の実践による理解の面が薄れている傾向にある。同学部は特に実験・実習の内容の拡充・改善を通じて教授内容の向上を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒以上 ② 経験3年以上 ③ 年齢26才以上 4. 大学での指導となるため
学生の資格に加えて当該分野における大学での研究経験(出来れば修士)がある
ことが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 12 日

調査者氏名 佐々木 健一

182 養

殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) 人	60年 8月	
	(日本語) 養殖	交替	(女) 1人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Kumudini Welfare Trust of Bengal					
(日本語): ヤンガルクムデニ福祉財団					
② 隊員勤務先名称: Bharateswari Homes 日本語名称(バラテスワリ学園)					
所在地: Mirzapur, Tangail 主要都市(ダッカ)から 70キロ					
③ 事業規模及び内容: 孤児及び低所得家庭の子女を対象とした全寮制の女子学園。学校は小学校高学年から高校まで。生徒数1,050名、教師数90名。又同所にバント教700の無料病院を別途運営					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
校舎(教室、職員室)、寮(居室、食堂等)、農場(約10ha)、養殖池二ヶ所(約4ha)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 淡水養殖に関する知識、技術					
③ 業務の形態: 同校内の養殖池にて淡水魚養殖Projectを設置し、飼養管理を行なうと共に、約14才から18才までの女子生徒を対象に飼養に関する知識、技術を教える。又将来カウンターパートの指導育成を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
現在カウンターパートとなれる教師はなし。将来確保予定					
⑤ 現地で利用できる機材:					
揚水ポンプ以外特になし。					
隊員が指導しながら、施設及び機材を制作、又購入して行く。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 病院にオーストラリア人の婦人ボランティア1名。					
⑦ 使用する言語: バンガル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同校は恵まれない家庭の子女の為の民間団体による学園であり、施設も良く教育程度も高い。教育の目標として自活出来る女性を育成し、その家庭のレベルアップを計ると共に、地域のリーダーともなることを目指している。その一環として農業、手工芸等の教育も行なっているが、教師となるべき女性が当国では非常に少ない。特に養殖は婦女子でも手軽に出来るものとして注目されており、期待は高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
短大卒以上、実務経験1年以上。					
※ 事務局記入					

記入 昭和 59 年 2 月 1 日

②③ (非公式)

182 養 殖

調査者氏名 木内志郎

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア共和国	(現地公用語) タルビア アルアスマツフ Fish Culture	新規	(男) 1 人 (女) 1 人 (男女不問) 2 人	59年1月 (59/1次隊)	
Syria A.R.	(日本語) 養 殖	(交替)			

(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform

① 配属先名称(現地公用語): General Establishment for Fisheries

(日本語): 農業農地改革省, 水産公団

② 隊員勤務先名称: Sin Unit 日本語名称(国)水産公団シン支所

所在地: Sin, Daniyas 主要都市(ダマスカス)から 55 キロ

③ 事業規模及び内容: Sin Carp Farm は 1978 年に事業開始。総面積約 80ha。養魚池(肥育池)約 60ha(13面)。稚魚池親魚池約 5.5ha(16面)。鯉・テラピアの生産量は'81年約 215ト、'82年約 220ト、'83年約 229ト。
Sin Trout Farm は 1980 年に事業開始。飼育池 111 面(35m x 4m。水深 90~125cm)ポンプ

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 揚水, ニジマス生産量は'81年約 60ト、'82年約 70ト。
なお、月刊雑誌「養殖」1984年2月号「海外養殖事情・シリアの養殖(大橋元格著)」を参照願いたい。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 養魚技術者

② 技術の範囲: ニジマス・コイ・テラピア等の飼育・生産活動(含指導)、種苗生産、水質管理、魚病のコントロール。なお、人工餌料作製試験にも従事する事が予想される。

③ 業務の形態: 不確定要素もあるが、シンニジマス養殖場及びマサップシン養魚場において、シリア人技術者又はワーカー等と共に現場にて飼育及び生産活動に従事することになる。勤務時間は午前8時から午後2時30分まで(昼食は業務終了後)場合によっては時間外勤務もある。

地道な日常活動を通じ生産向上に努力する一方、養魚技術者のあり方と実践・啓蒙しつつ、シリア的養魚場経営のあり方又は方法等も考察し、これをレポートといまじめ水産公団関係者に提出するなど、養魚技術移転に少しでも貢献すること。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 同支所全スタッフは 60 名、内訳は事務関係スタッフ(含場長) 8 名、生産担当ワーカー 14 名、メサップシン(ポンプ室等) 13 名、ドライバー 4 名、ガードマン(夜警) 11 名。

⑤ 現地で利用できる機材: このうちマサップシン養魚場は総員 15 名(含主任・大卒・日本に 2 名、9 名研修済)従って、同支所の養魚技術者(大卒) 2 名と除き技術水準は高いため、年齢 20~40 歳
→ 生産活動に必要な機材はほとんど揃っている。

⑥ 第 3 国人等の配置状況: 現在マサップシン養魚場に UNV バングラデシュ技術者 1 名、近々他の養魚場に移転を計画。

⑦ 使用する言語: 英語及びアラビア語 なお、水産公団本部にはテクニカルアドバイザーとして JICA 相馬専任者がいる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国には、養殖技術者養成機関がなく、同水産公団の各養魚場における業務担当養殖技術者は、主に充て不足、時業務が激しいこと及び給与が少なく、理由として定着せず、養殖技術者不足に悩んでいる。従って、今後派遣 JICA 隊と同様、日常業務を通じ生産向上及び養魚技術者、あり方等と実践・啓蒙することと深く望んでおり、期待は大きい。
更に、日シ両国の親善交流に寄与すること及び背景の一つである。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○水産養殖関係大学卒 ○実務経験 1 年以上あれば申し分ない。
明るく社会的な場調性のある人物。25才以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

19

記入 昭和 58 年 9 月 日

182 養 殖

調査者氏名

中垣長睦



受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
カンビア	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 養殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	59年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Department of Fisheries, Water Development (日本語): 農水資源開発省 水産局					
② 隊員勤務先名称: Mwekera Fish Farm 日本語名称 (ムケラ養魚場) 所在地: Kitwe と Ndola の中間 (Kitwe 側) 主要都市 (キトウェ) から 26 キロ					
③ 事業規模及び内容: 120 余の養魚池で、カンビア各地の養魚池および養魚をめぐりカンビア人農民を対象にトレーニングを開設している。また Mwekera から 55Km 離れたところには Masaiti 支庁の養魚池を管理下にあり、同支庁は 10 の養魚池があり、6 人のスタッフがいる。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): Mwekera → 養魚所、倉庫、トラクター、ランドローバー 3 台、教室 2、宿舎 (約 20 名) 養魚池 養魚池 約 40 水は豊富 (ただし養魚用)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries Research Officer					
② 技術の範囲: Mirror Carp の種苗生産および養魚が中心。Kitwe 市近郊の養魚池への指導、Mwekera 養魚場での training center での講義も行う。					
③ 業務の形態: 実地は Mirror Carp の種苗生産にかかわることに仕事の大半を占め、また training center での講義も行う。通常の勤務は月～金 AM 8:00～PM 5:00 (PM 1:00～2:00 昼休み)、土日は休みであるが仕事のためか、魚の養魚なので土日忙しい時に限って仕事をすることがある。局長以下に、2 名の Fish Scout、その下に約 25 名の worker がいて業務を行っており、局長および Fish Scout での連携が仕事を進めるといえる。また Masaiti の養魚池へもかなりの頻度で出張している。					
⑤ 現地で利用できる機材: 水質検査器、ポンプ、計量器 (移りこびる基本的なものがほとんど)、0.5 石パンライト、水槽、小型エアポンプ、収穫用皮網、ボート、58 年度 JICA から提供されたトラック等 (活潑輸送車等)					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: FAO からの専門員 1 人 (西ドイツ人)					
⑦ 使用する言語: 英語、ヘンバ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: カンビア政府は国民へのタンパク質食料の確保の観点から養魚に大きな期待をもっている。特に 1980 年協力隊員の手によりマラウイより導入された Mirror Carp (鏡鯉) への期待は大きい。現在隊員の手により進められている Mwekera 人工種苗生産場建設の計画もカンビアの水産にとって不可欠のものであり、新隊員にかかる期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学の水産増養殖学科を卒業したものが望ましい。 (エの種苗生産技術者として必要) (ホルモンの注射により魚卵を受精させるもの) ホルモン注射については研究による習得も可					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59 年 8 月 22 日

182 養 殖

調査者氏名 入江正己

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語) Fish Culture	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Water Development
(日本語): 農業水資源開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Fisheries 日本語名称 (水産局)
所在地: Mwekera (ムケラ) 主要都市からの距離 (Kitweより25キロ)

ハ. 事業規模及び内容: タム 1. 養堀 1 池 57.95ha (うち 16 池 4ha は FAO が使用)
コンクリート水槽 1. Tilapia と Mirror carp の養殖を行なっており。また Fish Farmer への指導および Fish Scouts 養成のための Training Center にもなっている。

ニ. 設備概要: ランドローバ 3 台. トラクター 1. 11'x11' ボート 1. ボート 1,
三菱パジェロ. 活魚輸送車. Water pump etc.

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: Fisheries Research Officer

ロ. 技術の範囲: Tilapia の養殖および Mirror Carp の人工種苗生産・養殖。
ホルモン注射および養殖一般の技術・知識が必要。

11. 業務の形態: 隊員は水産局の Mwekera Fish Farm に勤務する。

月～金. 8時～17時 (うち 13時～14時まで昼休み)。

仕事の内容は①同 Fish Farm での Tilapia の養殖および Mirror Carp の人工種苗生産が中心となる。これと②アシスタント 10 名 (現場監督であり Training Center の教官。地位は Fish Scout) への養殖全般にわたる技術・知識の指導③さらに Mwekera 近辺の Fish Farmer への養殖指導をする。

ニ. 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Fish Farmer たちは年齢もまちまちで養殖に関しては初心者が多い。カウンターパートは 30 才前後で技術は特に低くないが高くもない (小学校卒業程度)。

ホ. 現地で利用する機材: 上記設備概要に加え水質測定機. 顕微鏡. 11'x11' 水槽 etc.

ヘ. 第 3 国人等の配置状況: FAO のプロジェクトでドイツ人が 12 月に帰国する。

ト. 使用する言語: 英語および Benba 語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1980 年に京泉隊員によってマラウイから導入された Mirror carp は他の魚に比べ餌料効率が高く。成長も早いのでタンパク源を魚に求めようとする Zambia 政府の意図にたいして期待されている。Mwekera には瀬尾隊員の立案した人工種苗生産センター建設計画があり。活魚輸送車をはじめとした機材を待つ。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと):

水産系大卒が望ましい。ホルモン注射ができること (研修によっても可)
2～3 年の人工種苗生産の経験があることが望ましく。特にコイの種苗生産ができることが必要である。活魚輸送車 (4250kg) の運転ができるのはさらに良い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

6か6

記入 昭和 59年 3月 15日

8/10(金)

182 養

殖

調査者氏名

金山昌功

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名*
T-1	(現地公用語) Aquaculture	新規	(男) 人	60年 7月	
	(日本語) 淡水養殖	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Education Service (日本語): 教育省 教育局					
② 隊員勤務先名称: Secondary Schools. 日本語名称() 所在地: 未定 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 全寮制の学校が大部分。 男子校、女子校、共学校あり。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 電気水道に常に余裕あり。トイレは3.片方だけの トイレ。両方トイレは3.1.3.1.3あり。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: School Pond 管理者。					
② 技術の範囲: Secondary school に設けられた自家消費用の淡水魚養殖池の管理と行なう。(テラコパ マス類が主)					
③ 業務の形態: テラコパとは、一番条件のよい学校を巡って配属し、稚魚から成魚への蓄養を司る。状況によっては周辺各地の学校を巡回し、School Pond の造成、蓄養技術等の技術的アドバイスを与えることとなる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: なし					
⑤ 現地で利用できる機材: ほとんどなし。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 配属校によっては USO, USPCV, CUSOA フィリピンがいる					
⑦ 使用する言語: 英語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
T-1 の Secondary School はそのほとんどが全寮制であり、 学生の食料確保が、学校運営の Bottle Neck となっている。 その打開策の一つのニとして、淡水魚の養殖を。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
① 淡水魚養殖経験、学歴不問					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

か8

記入 昭和 59 年 3 月 9 日

調査者氏名

金山昌功

8/8(水)

182 養

殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語) RURAL DEVELOPMENT (日本語) 村落開発普及員	新規 交替	(男) 1 人 (女) 1 人 (男女不問) 1 人	60年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): ATWIA TOWN COUNCIL					
(日本語): アトワ対設場					
② 隊員勤務先名称: " 日本語名称()					
所在地: EKUNFI, ATWIA, CENTRAL REGION 主要都市(アクラ)から120キロ					
③ 事業規模及び内容: アトワ対(人口約500人)の生活環境の改善及び現金収入を増加させる為のプロジェクト作り。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 長老と同等の地位					
② 技術の範囲: 現在淡水魚養殖プロジェクトを計画中であり、水産関係の養殖の ある人が望ましい。					
③ 業務の形態: 漁とったプロジェクトが用意されている訳ではなく、隊員を中心に 長老会と協力の上、村民の生活環境改善及び現金収入に つなげるプロジェクトの設定。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 未定					
⑤ 現地で利用できる機材: 発電機, ゴムボート					
⑥ 第3国人等の配置状況: 未定					
⑦ 使用する言語: 英語, フランス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
村に現金収入に付る産業もないところから、新しく現金収入の途を作れば若 村民に於て隊員に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
2年間水・電気・生活で別々の気力共壮健であること。 ババリーテアのある水産関係の養殖有人が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 59 年 2 月 28 日

182 養 殖

調査者氏名 河野文男 高塚

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) ACUACULTURA	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養殖	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 CONSEJO NACIONAL DE INVESTIGACIONES CIENTIFICAS Y TECNOLOGICAS			
1. 配属先名称 (現地公用語):			
(日本語): 科学技術調査審議会			
ロ. 隊員勤務先名称: LABORATORIO de INVESTIGACIONES MARINAS		日本語名称 (海洋調査研究所)	
所在地: フンクモラリス		主要都市からの距離 (首都より100キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: 1974年設立の自治機関			
各種プロジェクトを立案し、大学等に施設を建設し、資金援助もする。			
ニ. 設備概要: 海洋研究所 (研究室3, 図書室, 倉庫, 居住設備) エアコン付き			
(2) 隊員の業務内容:			
① 業務上の地位: 研究指導員			
② 技術の範囲: 貝, 牡蠣類, 種苗生産研究 学士論文指導			
③ 業務の形態: 研究室勤務型			
④ カウンターパート: プロジェクト実施機関ナショナル大学 (UNA) の助手が任命される予定 指導対象は教授1名, 学生4名 プロジェクト主任は DR. Eduardo Zamora (UNA教授)			
⑤ 機材: 研究機器は揃っていないが, 85年度迄の1次予算から10万USD (人件費, 管理費含む) 確保されているとの購入の旨はある。			
⑥ 本国人: 無			
⑦ 言語: 西語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
養殖技術の向上, 漁民に対する技術普及			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
◎ 大学卒以上			
◎ 貝類種苗生産の研究もしくは実務経験			
普通自動車, 自動二輪運転免許			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 13 日

調査者氏名 河内 達

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィジー	(現地公用語) FISH BIOLOGIST (FRESH WATER) (日本語) 魚養学(淡水) 養殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): FISHERIES DEPARTMENT, MINISTRY OF PRIMARY INDUSTRIES. (日本語): 水産庁 漁業局					
② 隊員勤務先名称: 漁業局 日本語名称() 所在地: ラミ (スバヤ約7KM) 主要都市(スバ)から 7 キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位:					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: エゴイ(すばの程に属し、水産庁に淡水魚の飼育)の研究、及びマダガスカルにおける水生評価、管理業務					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 同漁業局には JICA 水産養殖プロジェクトがあり、専任 3 名が在籍している。					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

長倉



記入昭和57年9月21日

191 農林統計

調査者氏名 齋川幸三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Data Processor	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農林統計処理	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限58年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture

(日本語): 農業省

2. 隊員勤務先名称: Karonga Agricultural Development Division 日本語名称 (カ-ガ農業開発局)

所在地: P.O. Box 43, Karonga MALAWI 主要都市からの距離 (首都より600キロ)

3. 事業規模及び内容: Blantyre より 900 km

年間予算 600万クワチヤ (約 650万 USD) で、マラウイ最北部の農業開発調査を行っている。予算出資は、I.D.A. 80% 自国政府 20%

4. 設備概要: 各部署ごとに独立した家屋を持ち、ランドローバー一台ずつが配属されている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員は、Karonga Agricultural Development Division (以後 K.R.A.D.D.) の Evaluation Section (調査統計部、業務内容詳記) に配属され、Data Processing Officer (P.O.) として仕事につく。上司は British のコ-トラクターであり、オ-の地位と12。また K.R.A.D.D. の中においても最上位の地位となっている。

2. 資料等作成において統計学及び、コンピューター使用における一般知識が必要とされ、農業についての知識も必要とされる。

3. 年間調査として大統領府統計局の指示に基づき、全国同一の形式による調査をまとめることが主である。

4. Data Processing staff はアシスタント 3名からなり、35才職歴10年-名、職歴2年2名 (ともに24才) から成っている。Secondary School 卒 (全員)

5. 隊員により申請されたポケットコンピューター1台、電卓6台がそろっている。報告書作成用タイプライター一台 (J.O.C.V. の) もある。

6. イギリス人のコ-トラクター1名が上司のほか、J.O.C.V. 1名 (農業土木)、アメリカ人1名 (女性問題) V.S.O. 1名 (前述女性問題 → 農村女性地位調査)

7. 英語にて、Official 会話が行われるが、北部の部族語 (ト-ンブカ語) も、地位の低いワ-カーは使用。1か所から、英語があくまで主である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和54年8月初めの隊員が配属されて以来、仕事上において円滑な業務が行われる。また、コンピュータープログラミング、統計処理の指導が行きとどき、大きな期待が寄せられている。J.O.C.V. 隊員は、友好的また利己的な面を出すことが少なく、評判が良く再び依頼がされているくらいである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒以上、農林統計、統計学を収め、また、コンピューター使用が可能であればこのうえない。社会経験があればそのほうがよい。ただし、統計は一般的知識、高校数学程度でこなせるが、英語力が英検2級以上は必要とされる。25才から30才が好ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

か20

記入 昭和 59 年 9 月 10 日

調査者氏名 191 農林統計 金山昌功²

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
41-1	(現地公用語) Agricultural Economics (日本語) 農林統計 農林統計	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年11月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Min. of Agriculture, Dept. of Economic Research & Planning Service (日本語): 農業者、経済調査計画部					
② 隊員勤務先名称: Accra Head Office 日本語名称(農業者本省) 所在地: アクラ市内 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 経済調査計画部のHead Office スタッフは約20名で構成。各地へ出張機材のもとに全国で約600名の調査員が活動しており、集めた各種農業関係データを統計的に処理し、分析している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): Wang Computer (USA) - 1982年導入					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Senior Staff					
② 技術の範囲: 農業経済全般にわたる知識及び「基本統計理論」が中心。コンピュータ操作が必須(Basic-2)					
③ 業務の形態: 農業政策立案の基礎となるデータと、各地からの調査員から送られてくる一次資料を収集、分析しまとめる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大卒 統計理論、農業経済についての知識は充分である。					
⑤ 現地で利用できる機材: Calculator					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業政策(食糧需給関係等)立案となる農業の基礎データは決定的に不足かつ精度も低いが現実であり、この面での改善は急務となっている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 大卒(農業経済専攻が望ましい) ② 平均以上の語学力必要					
※ 事務局記入					